

## 第1章 調査の概要

町では、平成29年3月に空き家実態調査（委託）を行い336件、令和3年2月に職員による調査で389件の空き家を把握しています。前回調査から3年が経過していることから、正確な空き家情報を把握するため、「空き家実態調査」を実施するものです。

調査対象は町内全域の家屋とし、固定資産税情報等のデータを参考に、職員による集計・目視確認を行います。

## 第2章 実態調査

### 1 外観目視調査等

基礎データの収集・整理の結果、空き家の可能性があり外観目視調査すべき家屋1,119件を抽出し、職員により家屋の状態等の目視確認及び写真撮影を行い、空き家と推測される465件を確認しました。

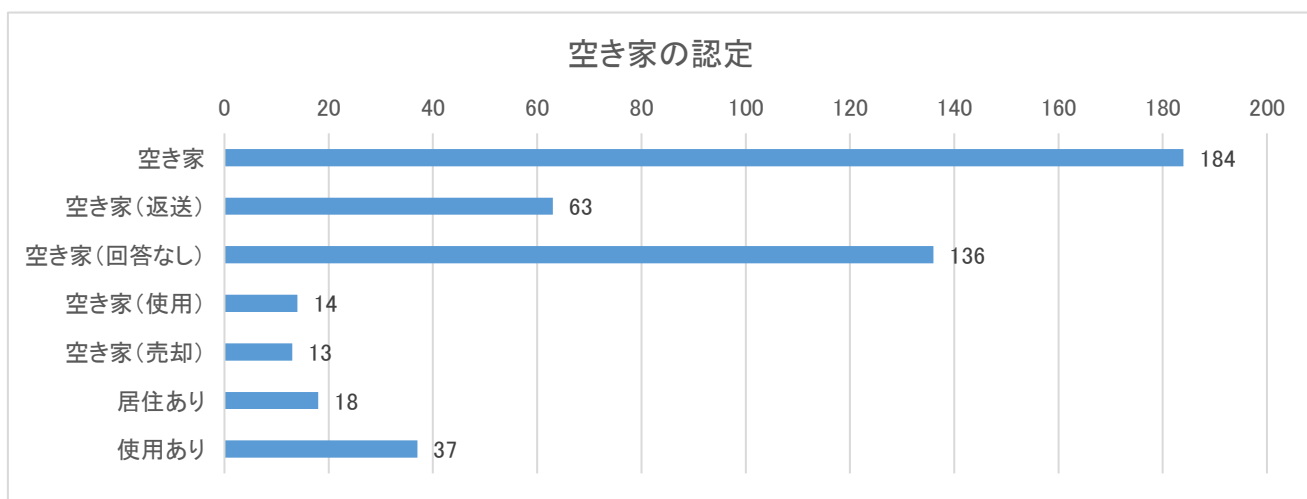
### 2 実態等アンケート調査

外観目視調査により確認された465件にアンケート調査を実施し、266件の回答がありました。有効回収率は66.2%となっています。

### 3 空き家の認定

外観目視調査及び実態等アンケート調査を基に、令和6年3月4日現在の状況（アンケート回答、住民基本台帳等）における空き家の認定結果は下記のとおりとします。

**410件を空き家と認定します。**



東： 55件（13.4%）

西： 266件（64.9%）

南： 48件（11.7%）

北： 41件（10.0%）

A：外観良好

B：外観一部不良

C：外観不良

D：荒廃している

不明等

200件（48.8%）

106件（25.9%）

82件（20.0%）

17件（4.1%）

5件